

< 3月末に公表予定 >

製品含有化学物質情報の伝達円滑化に向けた報告

経済産業省は、この度、サプライチェーンにおける、新たな製品含有化学物質情報の伝達スキームとして、「chemSHERPA」(ケムシェルパ)を開発しました。chemSHERPAの普及は、情報の提供側・受領側双方の負担軽減に資すると考えております。

chemSHERPAは、開発当初から、日本標準だけでなく国際標準(デジュール・スタンダード)となることを目指し、IEC、IPC等の国際的な枠組と連携しております。また、デファクト・スタンダード化に向け、国際機関、他国政府への紹介等も行っております。

本年4月にアーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)がchemSHERPAの運営組織となることを前提に準備作業を進めており、平成30年3月末までの2年間を移行期間として、順次chemSHERPAの利用を進めていきたいと考えております。

上記の取組を踏まえ、次頁に記載する企業・グループがchemSHERPAの普及に賛同しており、引き続き、各企業と協調して、chemSHERPAの国内外への普及に取り組んでまいります。

なお、chemSHERPAは広く使っていただくため、その利用(データ作成支援ツールの提供)は無償とする方針となっております。

平成28年3月(未定)

経済産業省 製造産業局 化学物質管理課長 山内輝暢
担当：中沢、菊野
電話：03-3501-0080(直通)

(参考) chemSHERPAとは

<https://chemsherpa.net/>

【賛同企業】(50音順)

(株)〇〇、〇〇(株)、〇〇グループ

(免責事項)

掲載している情報もしくは内容に関連して直接・間接的に生じたいかなる損失に関し、当省は一切責任を負いません。